おだしの山一　検索 クリック！

ありがとっ。

第212号

2016.9月

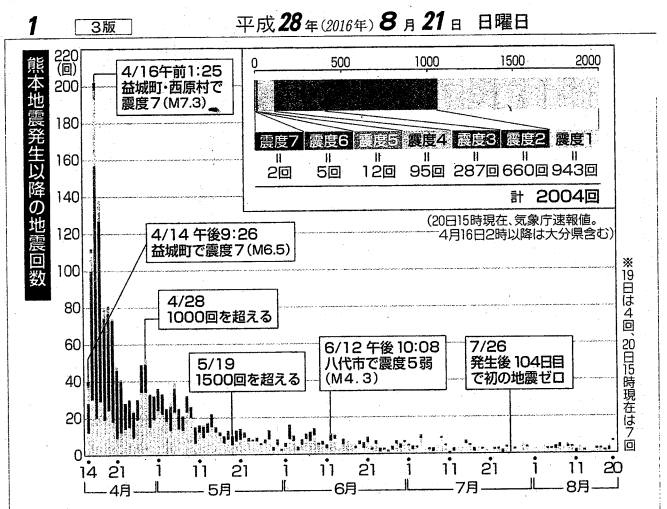
株式会社 山一
(本社・工場)熊本市西区田崎町380
(本店営業部)熊本市西区田崎2-2-6-1F
削りぶし一筋45年!!
お客様係TEL
(096)322-7788

支えあおう熊本
～いま心ひとつに～

「8月20日、とうとう熊本地震2000回を超えちゃいました。」

8月の最高気温は11日の38.1℃。最高気温ランキング1位は1994.7.16の38.8℃。
↑この暑さ、覚えていないな

8月31日15時現在2044回です。熊日新聞には地震後毎日地震回数のグラフが掲載→されていてかかさず眺めてはまだまだ続くのかなぁ…って思っています。震災後は『震源地マップ@地震くん』のHPを開いては震源地確認をするのが日課となっている(豊)です^^。もうそろそろ気象庁から終息宣言がでないかなぁ…でもまだ震度4があるしなぁ…正直、疲れたこころが本音。



熊本地震 2千回超　阪神大震災以降 最多ペース推移

気象庁が発表した速報値によると、熊本地震で震度1以上の地震回数が20日、2千回に達した。同日午後3時までに2004回を観測。4月14日の前震発生から129日目で地震活動は低下しつつあるが、1995年の阪神大震災以降に内陸や沿岸で起きた地震としては最多ペースで推移している。

前震のあった4月14～30日は1093回、5月は520回、6月は214回、7月は114回。8月は20日までに63回と徐々に減少している。ただ9日に熊本地方、19日には阿蘇地方を震源とする最大震度4の地震があった。20日は午後3時までに7回発生した。

マグニチュード(M)3・5以上の地震に限ると、8月16日までに267回起きており、阪神大震災や2004年の新潟県中越地震を上回って推移している。

日本地震学会の山岡耕春会長(名古屋大教授)は「地震は減りつつあるが、減るペースは鈍ってくるだろう。大きな地震の可能性は低くなっているので、そろそろ次に起きる別の地震に備える通常の警戒体制への切り替えを検討してもよいのではないか」と話している。

(鹿本成人、林田賢一郎)

北海道産 出し昆布情報

全体的に減産傾向、台風の影響はあまりないようですが、生産者が減っているのが懸命されます。

(羅臼) 7月漁はまずまず、8月は天候が悪く出漁できず。大減産の昨年より少し多め。

(真昆布) 3月の大しけ被害の影響も引きずり大減産。青森や岩手の大減産も影響しかなりの高値予想。
品質は、海水高温の影響を受け丈が短く3、4等が中心になりそうとの見解でした。

8月の最高気温は11日の38.1℃。最高気温ランキング1位は1994.7.16の38.8℃。
↑この暑さ、覚えていないな

幹社工場ですが、まだ目途が立っておりません。
年末前までにはなんとか形だけでも…と思っておりますが、移設移転ともなると用地確保からの大がかりな話なのでなかなか進まないのが現状です。通常は数年かけてじっくり考える工場移転を短時期で準備するとなると頭の中が■◎!☆△?になり、夜も眠れないな。この「ありがとっ!」を発刊するたび「次号では復旧の目途をお知らせしたい」と思い1ヵ月間動いておりますが、スムーズには進みませんね。皆様にはご迷惑を掛け続け本当に心苦しいのですがもう少し時間を要することになる旨、ご理解いただければと存じます。

子どもが作る「弁当の日」竹下和男氏 講演会

子どもを台所に立たせよう ～「くらしの時間」を家庭に～

給食がない日に、子どもが家庭の台所に立つ取組み、「弁当の日」。親は手伝わず、子どもが、献立、買い出し、調理、弁当詰めから片付けまで、ひとりで行います。弁当には点数をつけません。評価もしません。
子どもたちは、自分で作ることによって、生産者や、料理を作ってくれる方への感謝の心や、自己肯定感を育み、生きる力を身に付け、自立への道を歩んで行きます。自然環境や、地産地消、健康づくりにも意識を向けていきます。実践校は、全国で1,800校を超え、昨年のミラノ万博日本館では、世界に向けて「弁当の日」が紹介されました。「食」と「農」への関心を深め、心身にわたる健康づくりができる優れた教育実践で、今後、益々広がっていく取組みです。貴重な機会ですので、皆様お誘いあわせのと、ぜひご参加ください！！

【講師 竹下和男氏 プロフィール】
香川県出身。子どもが作る"弁当の日"提唱者。2001年、香川県滝宮小学校校長時に「弁当の日」の取組みをスタートさせる。
2003年、「地域に根ざした食育コンクール」で農林水産大臣賞を受賞。2009年度「月刊JA」連載。「食育白書」(内閣府)で取組みが紹介される。2014年「弁当の日」を広める応援プロジェクトが、第8回キッズデザイン賞、消費者大臣賞を受賞。
著書に、「台所に立つ子どもたち」(自然食通信社)「弁当づくりで身につく力」(講談社)、「お弁当を作ったら」「できる！を伸ばす弁当の日」(いずれも共同通信社)、絵本「"弁当の日"がやってきた」(河出書房新社)など。現在、執筆・講演活動を展開。
新聞掲載、テレビ・ラジオ出演も多数。

【日 時】2016年9月25日(日)
14:30～16:15（開場14:00）
【参加費】一般 2,000円 ／ 学生 1,000円
【定 員】150名（先着順）
【会 場】市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）大会議室
住所 熊本市中央区桜町1－3 ／ TEL 096－355－5235
【申込方法】①氏名、電話番号、メールアドレスを明記の上メールにて ②裏面ご記入の上FAXにて ③下記のQRコードより「こくちーず」にて、①～③のいずれかの方法で、お申込みください。

【主催】熊本「弁当の日」応援団 【共催】Go for it!KUMAMOTO
【お問い合わせ】メール kumamotobentounoh@gmail.com
TEL 090－4358－9006(杉本) 090－2963－6229(甲斐)
FAX 096－300－3274

子どもの自立心を育てる「弁当の日」を2001年よりスタートさせた竹下和男先生の講演会が熊本で開催されます!!
詳細は熊本「弁当の日」応援団で検索するか(株)山一店頭、(株)山一Facebookを見てください。

この夏休み、小4の息子は麦ごはんを炊き、ハヤシライスを作って食べていた。そうめんをゆで昆布ぬっけだしのつゆでそうめん流し器で食べてた。わが子ながら感心。

9月の伝承!おだし教室はお休みさせていただきます。